



私の秘密

ADULT ONLY



私には  
誰にも言えない  
秘密があります

私は家族が  
寝静まった後

ハ  
キヤッ

イ..

こっそり家を  
抜け出します

さび

そして...





これが…  
私の秘密です



冷たい夜風が心地良い

いつ誰に  
見つか  
らないか

そんなスリルが私の体を火照らせます

あ……

は……

よ……よーしっ  
今日は思い切って……

これでもう体を  
隠すことは  
出来ません

はあぁ

あはっ



脱いじやった!  
脱いじやった!

こんな  
ところで…

ああ—  
こんなにも怖いのに

怖い

怖い

もうやめよう

もう充分だよ

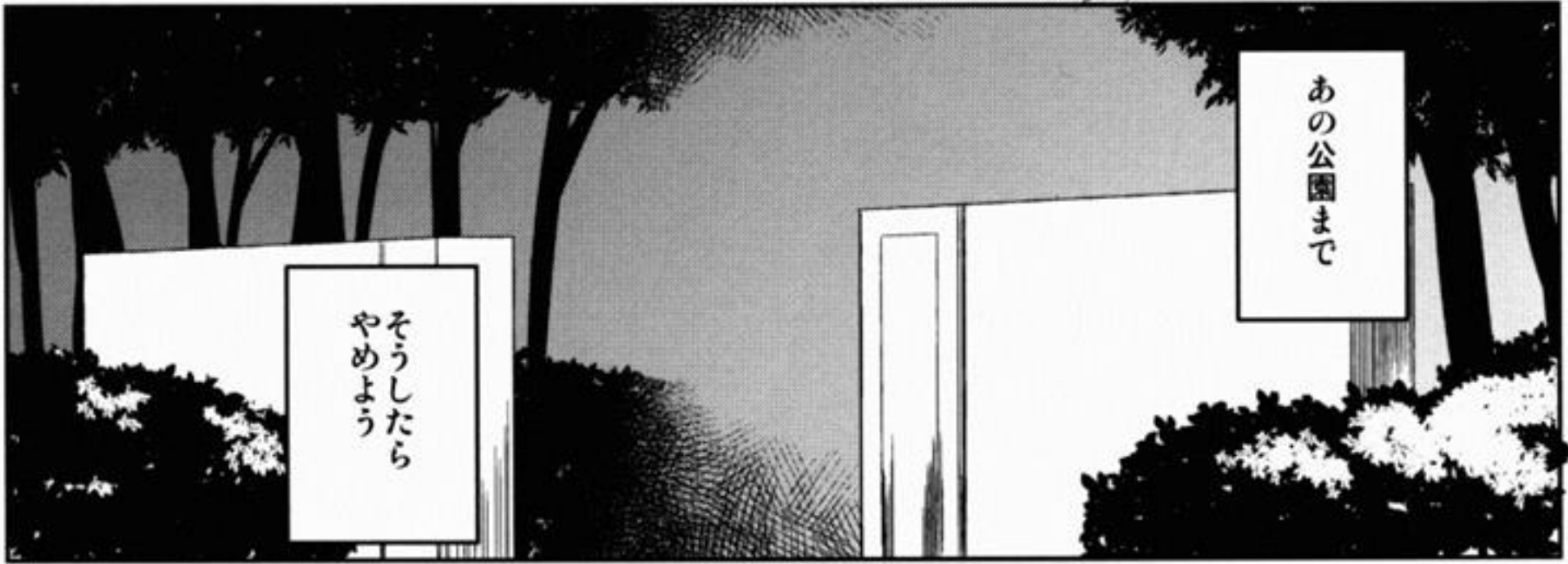
そう思っている  
はずなのに…

なんでこんなに  
ソクソクするんだろう





でも…  
もう少しだけ…



そうしたら  
やめよう

あの公園まで



なんだ

誰もいない



チラ..

アッ

安堵と開放感

私はつい公園の  
ベンチに座り  
オナニーを  
始めてしまいました

はぁっ

んっ

じゅぽ

じゅぽ

じゅぽ

誰か…誰か…

こんなところで…  
もし誰か来たら…

誰かに見られ  
でもしたら…

ほぁぁ♡

お願い誰か  
私を見てえ…





私はそのままの  
姿で自分の部屋に  
戻りました

冷静になって  
考えてみれば  
なんて危険な...  
家族が起きてこなくて  
本当に良かったです



見られちゃった…

怖かった…  
もう…二度と  
こんなことしない

でも  
すごく…すごく…  
気持ちよかった…っ!!

私は体の火照りが治まらず  
ずいぶん夜遅くまでオナニーを  
やめることが出来ませんでした



それから私は  
学校でもこんなことを  
するようになりました

最初は下着を  
着けずに行くぐらい  
だったんですが…

段々物足りなくなつて  
エスカレーターして  
しまいました

ピアスも付けて  
もう誰にも  
裸なんて  
見せられません

先日イった拍子に  
転んでしまいました

あーっ  
ビクビク

運悪く櫛井さんが近くに  
いて心配されちゃった

大丈夫？

あはは…

パイプの音  
ばれてないと良いけど…

くちゅ

びび

し

し

し

本当は…

いつも学校のみんなに  
秘密がばれることを  
想像して興奮しています

もしも授業中  
この制服を脱ぎ捨てて  
みんなの前で  
オナニーをしたら

みんなは  
どんな顔を  
するんだろう

櫛井さんは…  
どんな顔で私を  
見るんだろう

そんなことを考えると  
たまらなく切なくて…

それだけでイって  
しまいそうになります

今日も放課後の誰もいない教室で  
私はそんなことを想像しながら  
オナニーをしてしまいました

ああ：誰かそのドアを  
開けて入って来てくれないかな

その誰かがもし  
櫛井さんだったら...

私はとれだけ惨めで悲しく  
そしてたまらなく快感な  
喜びを得られるだろう





!!

↑  
↑  
↑

びん、  
↑  
↑



ダメだよ櫛井さん

こんなところに  
居たら…

…櫛井さん



あの…っ私っ

じわ



数日後





天  
文  
學